

# 2021 AUTOBACS SUPER GT ROUND 4 MOTEGI GT 300KM RACE

## Race Report



この活動は下記のパートナー企業様に支えられています

NISSAN REALIZE GROUP YOKOHAMA UD TRUCKS Logisnext PITWORK F-Premium 日産車体 AUTECH Quick Pro Paint  
ROCK PAINT PREMIER Assist 株式会社ゼロ ANA 5YEARS COAT Premium NGK NTK KENWOOD raffinée MAL TOOLS DëFF KAMMOJO  
LSI LS KSB aveox Performance L'ACURE D.R.M. SUNTORY pepsi puma EBBRO 福島日産 日産プリンス栃木  
埼玉日産 日産プリンス埼玉 日産東京 神奈川日産 日産プリンス神奈川 岐阜日産 愛知日産 日産プリンス名古屋 滋賀日産 京都日産  
日産大阪 日産プリンス秋田 松本日産 千葉日産 日産自動車販売 浜松日産 日産プリンス静岡 福岡日産 日産サティオ佐賀 日産プリンス長崎  
日産サティオ弘前 日産プリンス宮城 日産サティオ湘南 三重日産 日産プリンス三重 兵庫日産 和歌山日産 日産サティオ岡山 *Levo*

# GT300 レース結果(予選) 2021. 7. 17

## Q1

ラストのタイムアタックでオリベ이라選手がAグループ2番手のタイム“1:48.366”を記録し、Q2への進出を決めた。



## Q2

予選Q2では藤波選手に変わり、ラストアタックで“1:47.972”を記録し、決勝でのスタートポジションを3番手で迎えられることとなりました。



# GT300 レース結果(決勝) 2021. 7. 18

**天気:晴れ 路面状況:ドライ**

決勝日、予報通り晴れて炎天下の中での決勝レースとなった。ファーストドライバーの藤波選手は、3番手からクリーンなスタートを決めた。サクセスウエイト72kg がありながらも、後方の52号車、4号車、88号車を押さえつつ前方の244号車、11号車を追う展開となった。

25周目、3番手キープでピットイン。

オリベイラ選手にドライバー交代してピットアウトしたアウトラップ、後方から迫っていた88号車と接触し、左フロントの足回りを損傷。その後ガレージに入り、見事に短時間で修復してコース復帰し、最終的に26番手でチェッカーを受けた。

ランキングは3位となるが、チームポイントはシリーズにおいて貴重な1ポイントを獲得した。



# 本廣学長インタビュー

**Q.2019年の日産メカニックチャレンジから学生スタッフの活動でよくなったと思うところを教えてください。**

**A.私は2019年より日産自動車大学校の学長になったので、日産メカニックチャレンジには当初から参加してきました。各レースごとに環境が変わる中で、学生スタッフの臨機応変に対応する姿が心強く感じます。活動を成功させようとしているのが伝わってきて、日々の皆さんの成長に驚かされています。**

**Q.学生にプロジェクトを通して得たものを今後どのように活かしてほしいと考えますか。**

**A.この活動には、皆さんが卒業後に加わるであろう社会の構図があると思います。学校だけでは体験できない大人の世界を垣間見ることができます。その体験を振り返り、自分のものにする事で成長に繋がると思います。この経験を活かして社会に出て頑張してほしいと考えています。**



# 栃木校

## 川嶋校長インタビュー



**Q.朝のミーティングでおしゃられていた団結力はみてとれたでしょうか？**

**A.** 活動を見ている中で、学生スタッフが主体となってどのような場面でも対処ができていて素晴らしかったです。各チームのリーダーがリーダーの役割をはたして、今回だけで解散するのはもったいないくらいのチームにしていました。学年を超えて形成されているチームを通じて、学校でも縦の繋がりを固めて欲しいと思いました。

**Q.この活動の経験を学生にどのように活かして欲しいと思われませんか？**

**A.** 学校ではチームとして成し遂げることは実習以外ではなかなかないと思います。世の中に出てからは、先輩や後輩と成し遂げ成果がでることがほとんどだと思いますので、今回のようなチームとして成し遂げることは良い経験になると思います。この三日間の経験は、なかなかできるものではないので、これを将来に活かして欲しいと思います。

**Q.最後に今回参加できなかった学生に一言いただけますか？**

**A.** 今回の日産メカニックチャレンジでは、YouTubeLIVE など皆さんが知ることができるよう、いろいろなメディアを使っています。これらを見て興味が湧いた学生には、次回 SUGO 戦もありますので、参加してほしいと思います。

## ドライバーインタビュー（予選 Q2後にご協力頂きました。）

### JP・オリベイラ選手

**Q.**今回はウェイトハンデ72kg がある中での予選ですが、振り返っていかがでしたか。

**A.**72kg とすごく重かったので、今回の Q1はギリギリになると思ったが車のバランスがよかったので結果が出せました。今回の3番手という結果にはすごく満足しています。

**Q.**レースに向けてトレーニングしてきた内容はどの様なものですか。

**A.**僕は基礎トレーニングとして毎日自転車トレーニングしています。

**Q.**決勝への意気込みを聞かせて下さい。

**A.**今回の300km のレースではスティント後半からのタイヤが厳しくなると思います。決勝では前回のレースのように SC などを上手に使い、良い順位で終われるように頑張りたいと思います。



# 藤波清斗選手

**Q.**今回はウェイトハンデ72kg がある中での予選ですが、振り返っていかがでしたか。

**A.**公式練習から車の調子やタイヤの調子が非常に良かったです。72kgのウェイトハンデは辛いですが、どうしてもポイントを取らなくてはならないので、普段とは違う予選の戦い方をしました。

**Q.**レースに向けてトレーニングしてきた内容はどの様なものですか。

**A.**シュミレータートレーニングや、基礎パーソナルトレーニングをしていて、その効果は十分にあったと思います。

**Q.**決勝への意気込みを聞かせて下さい。

**A.**今回のもてぎ戦は、良い位置でのスタートになるので、このチャンスをものにしたいです。その為にも KONDOレーシング、日産自動車大学校、日産の販売会社のTSのみんなで協力してものにしていきます。

**【藤波選手から、日産自動車大学校の生徒へ一言】**

コロナ禍で普段通りにいかないところもありますが、前を向いていきましょう。SNS などからメッセージを通して、元気をいただいています。私はレースを通して元気をあたえて、一緒に頑張っていきたいと思います。



# TS インタビュー

桑野 駿さん（日産プリンス栃木販売株式会社）

**Q.日産メカニックチャレンジに参加した動機を教えてください。**

**A.私は小さい頃からモータースポーツが好きだったので日産自動車大学校に入学し、ディーラーの整備士をめざしました。日産メカニックチャレンジが行われていることを知って、モータースポーツに係る経験をしたいと思い、参加を希望しました。**

**Q.この活動を通して経験したことを教えてください。**

**A.今回の日産メカニックチャレンジでは、的確で迅速な判断と作業スピードが求められると感じました。なかでもチームワークの大切さを再確認させられました。**

**Q.準備してきたことはなんですか。**

**A.私たちがメカニックチャレンジに参加する前にGT-Rの大まかなセッティングは終了していました。私達の仕事内容は、最終段階の調整と整備の最終確認をしました。**

**Q.日産自動車大学校の学生へ一言お願いします！**

**A.メーカーだけでなくディーラーにも来ていただきたいです。**





## 村田 悠輔さん（埼玉日産自動車株式会社）

**Q.日産メカニックチャレンジに参加した動機を教えてください。**

**A.昨年の日産メカニックチャレンジで職場の先輩が参加していたので、会社で観戦をさせていただきました。元々レースメカニックに興味があったので、これを機にチャンスがあるならばと思い参加しました。**

**Q.この活動を通して経験したことを教えてください。**

**A.トルク管理の重要性など再確認させられました。現場に繋がることも多く学んだので、販売会社の仲間に展開したいと思います。**

**Q.準備してきたことはなんですか。**

**A.アライメント調整やタイヤの脱着などレースさながらの作業をさせていただきました。**

**Q.日産自動車大学校の学生へ一言お願いします！**

**A.日産メカニックチャレンジなど会社入ってからだと、なかなか参加しづらくなってしまうかもしれないので、学生という立場を活かしてどんどんチャレンジしてほしいです。**



# 学生スタッフ インタビュー

学生スタッフリーダー 栗野 翔大

今回は、チームがいかに連携してホスピタリティーエリアで接客ができるか、暑い中、熱中症にならないように他の学生の体調に気を配るなど、学生リーダーとして自分ができることを取り組みました。

また、予定していたタイムスケジュールや動きが変更されたり、新しいものが追加されたりと臨機応変に対応していく必要がありました。

その臨機応変に対応していくスキルとリーダーとしての活動は、社会に出て仕事していくのに必要なことだと思うので、将来自分の働くときに活かしていきたいと思います。

PIT 班リーダー 林 篤志

私はマシンのタイヤ交換、車体を拭く、車検場に持っていくためにマシンを押し下ろすなどメカニックの皆様のサポートを担当していました。

今回の活動を通して学んだことは、諦めない気持ちです。今回のレース中に起きたハプニングではリタイヤしようと考えていたそうですが、皆様からの応援に応えるため、すぐに修復しまた走らせようとするメカニックの皆様の姿を目の当たりにして心が熱くなりました。今回の活動で得た大変貴重な経験を、今後立ち足はだかるであろう壁に活かしていきたいです。

YouTubeLIVE PIT MC/PIT マネージャー 佐山 剛輝

私は、YouTube でこの活動に参加している方々、ドライバーさんに様々なことをインタビューしました。また、PIT マネージャーとしてドライバーサポートも行いました。今回私は、この活動で臨機応変に対応することを学びました。この経験を活かして、今後予想外の事が起きても落ち着いて対応していきたいと思います。

# YouTube Live の様子

raffinee Lady のお二人がチームを活気づけに来て頂きました！



## 広報活動振り返り

広報リーダー 成田 颯

私たち広報は、新型コロナウイルスの影響で例年とは違いホスピタリティーエリアとピットエリアとの行き来ができなかったため、今まで以上にコミュニケーションを取ること、一人一人が自分のできることをしっかりと考えて行動することが必要だった。

「今回の活動を成功させたい」誰一人この思いが欠けることなく取り組めたことで今回の活動は私たちにとって、とても実りのあるものだったと考える。

また、私は「広報リーダー」という役割と YouTube「NISSAN MECHANIC CHALLENGE Live」の MC として活動させていただいた。現場の様子を視聴者の方に伝えるという重要な仕事を任せていただいたことに感謝の気持ちと共に、とても良い経験になったと感じる。

この活動を通して、参加していた全員が沢山のことを学び、成長できたと感じる。支えてくださったスポンサーの皆様、KONDO RACING の皆様、先生方、そして仲間たち、全ての方々に感謝しています。ありがとうございました。

(広報)成田 颯/権守 拓磨/  
高柳 祐貴/仲田 健人/沼田 俊輔

